

市民生活・環境関係

件 名	住居表示の実施について
内 容	富士地区の住居表示の実施をしていただきたいです。 富士地区の市街化区域では平成６年に住居表示実施のアンケートが行われ、回答率の低さから実施されませんでした。しかし、現在は当時の人口からかなり増え住民の層もある程度入れ替わっています。また、住居表示の実施は住んでいる場所の分かりやすさや「整備された街」という印象が与えられることから既存住民に対するメリットだけでなく新規住民の取り込みにもつながります。勿論、白井市の厳しい財政状況や多くの住民に対する住所変更の負担などを鑑みる必要がありますが、ご検討のほどよろしくお願いします。
回 答	市長への手紙をいただきありがとうございます。 また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。 お寄せいただきました市長への手紙について回答させていただきます。 本市における住居表示につきましては、昭和５３年１２月議会におきまして、住居表示の実施区域を千葉ニュータウン地区全体とし、住居表示の方法を街区方式とすることの議決を経て、ニュータウン区域で新たに開発が行われる箇所の住居表示を順次実施しているところです。 富士地区につきましてはニュータウン区域ではありませんが、御指摘のとおり、昭和６３年に富士地区の区長などを中心とした有志の方々が、関係機関と会合の上、白井町富士地区住居表示制度推進協議会（以下「地元協議会」）を結成した後、平成元年に白井町が地元協議会からの陳情を受け、地元協議会、白井郵便局、富士地区の各区長等と協議を行い、平成６年に富士地区内の市街化区域の全世帯に対してアンケートを実施しましたが、回収率３９．０８％、そのうち賛同者が約６０％、全世帯に換算すると２３．６９％という結果となり、住居表示の実施には至りませんでした。 その後、現在に至るまで富士地区の住居表示につきましては地元協議会の設立等も行われず、地域からの要望も寄せられていないため、検討を行っていないところです。住居表示は、その区画を恒久的かつ明確な境界（道路・水路・鉄道の線路等）をもって定める必要があるほか、既に居宅や会社等が存在する場合は、住所が変わることによって、その影響や負担は大きいものと考えております。 主な例を挙げますと、自動車運転免許証や車検証の住所変更、土地・建物等の登記簿に記載されている所有者の住所変更、会社等の所在地及び代表者の表示変更登記などの手続きのほか、御自分の勤務先や金融機関、保険会社等に住所変更に伴う手続きの要否の確認など、必要に応じて地域住民のみなさまにお願いしなければなりませんので、住居表示に当たっては地域住民の総意を確認するための丁寧な合意形成が必要であると考えています。 そのため、富士地区の住居表示につきましては、各自治会等からの要望などで地域住民の機運の高まりが確認できた場合には、再度、全世帯に対してのアンケート調査等を行うなど住居表示の実施についての検討を慎重に行っていく必要があると考えておりますので、御理解くださるようお願いいたします。 （関係課：市民課）

件 名	除草剤散布について
内 容	住宅街の空き地への除草剤散布を禁止にしたいです。 どのような除草剤が使われているのかもわからないので、小さい子供への健康被害が心配です。どうかよろしくお願いします。
回 答	市長への手紙をいただきありがとうございます。 また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。 お寄せいただきました市長への手紙について回答させていただきます。 市では、「白井市空き地に係る環境衛生の保全に関する条例」に基づき、土地所有者等に対して空き地の雑草等の除去について依頼しておりますが、除去方法につきましては、現在のところ除草剤の散布を含め、土地所有者等の判断のもとに適正な管理をお願いしております。 なお、今回いただいた書面の内容だけでは、場所等の詳細情報が分かりかねますが、今後も土地の適正な管理がされていない空き地等がございましたら環境課環境保全係（０４７－４０１－５４０９）へ御連絡をいただければ、土地所有者等に対して空き地等の適正管理について依頼させていただきますので御理解いただきますようお願いいたします。 （関係課：環境課）

件 名	捨て猫繁殖防止について
内 容	捨て猫繁殖防止に TNR が実施されていることはご承知の通りですが、その費用に関しまして、補助金なしで済ませる方法を一部の行政は取り組んでおりますことをご存知でしょうか？ 保健所の動物問題担当者は獣医師の免許保持者ですので、彼らが執刀できるので。2009 年 4 月に福岡市がこれをはじめました。 4、5 年前、高齢化問題による町内会の機能低下が社会問題となっておりましたのをご記憶でしょうか？町内会が地域猫の TNR の費用持ち出しなど、想定外ですので、このことを県に伝えましたところ、必要数の確認のためでしょうか、18 年白井市にて TNR の無料手術を 1 日実施、100 匹集まったそうです。19 年度から、県は補助金制度を始めましたが、市は参加しておられません。それで県は再び、20 年に無料手術を実施、149 匹、集まりました。 TNR をしなければ、このように捨て猫は増えていきますことをご確認ください。 日本全国、高齢化が進んでおります。TNR は早ければ早いほど効果はあります白井市ができるだけ早くこの実施に取り組まれますことを要望するとともに、全国各地の自治体も同様であるならば、一斉に各自の保健所へ要望されてはいかがでしょうか？1 日も早い実現を願っております。
回 答	市長への手紙をいただきありがとうございます。 また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。 お寄せいただきました市長への手紙について回答させていただきます。 市では令和 2 年度に動物愛護団体主催による「飼い主のいない猫の不妊去勢手術」の実施にあたって、白井市役所倉庫を会場として提供し、手術回数については、年間で 3 回、実施頭数は合計で 149 匹となりました。 地域猫に係る課題として、不幸な猫を増やさないためにも、市としても不妊去勢手術の必要性を感じており、御提案のありました「保健所の獣医師による不妊去勢手術」について千葉県に確認したところ、職員体制や設備の問題等もあることから、現時点においては、難しいとの回答をいただいております。 市といたしましては、地域猫対策として不妊去勢手術は有効なことから、今後も引き続き、会場の貸出や受付等に市職員が協力するなど動物愛護団体と協力してまいりたいと考えております。 また、千葉県の補助金制度につきましては、市の財政状況等を考慮しながら、今後、他市の情報収集を行うなど検討していきたいと考えておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。 (関係課：環境課)